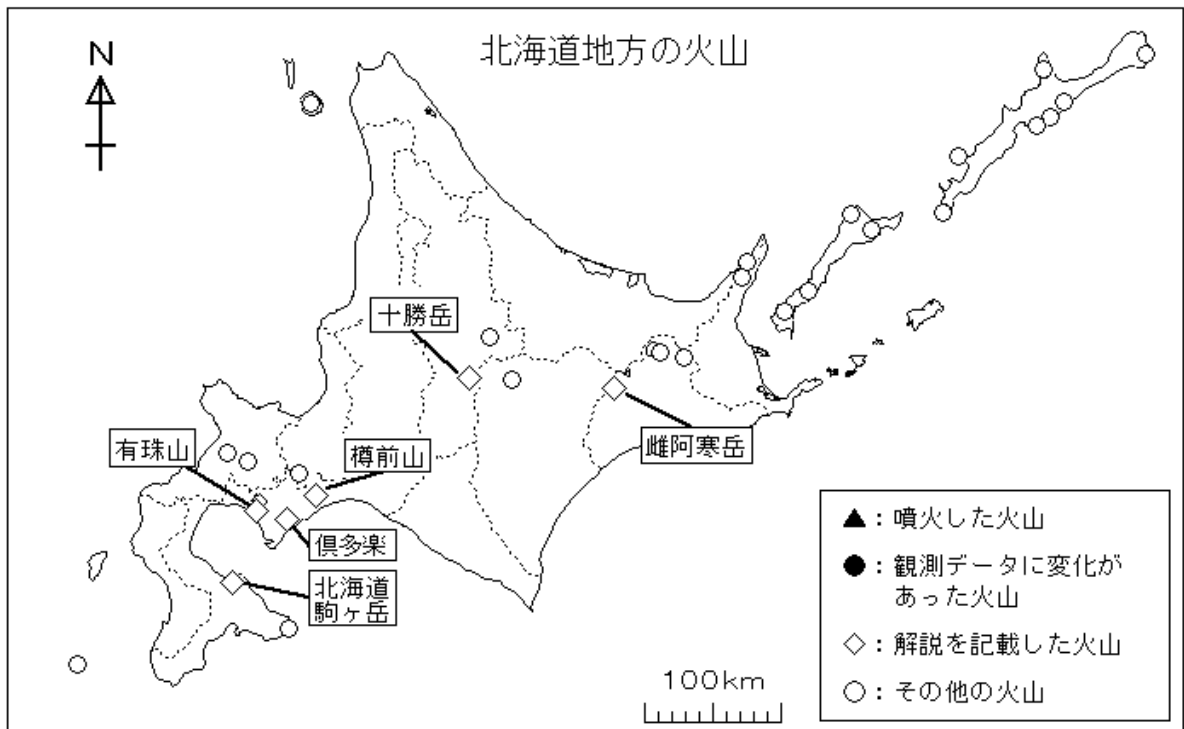


北海道地方の火山活動解説資料（平成 15 年 3 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳 : 上旬から中旬にかけて地震回数がやや多くなりましたが、噴煙の状況に変化はありませんでした。2000 年以降ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動はやや弱まる傾向にあります。

十勝岳 : 2月に火山性微動が2回観測されましたが、その後微動は観測されていません。62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。

樽前山 : 今期間、顕著な地震の増加はありませんでした。1996 年以降地震活動が活発化しており、A 火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっています。

倶多楽 : 11 日、倶多楽付近で発生した地震により、登別、白老などで震度 1 を観測しました。

有珠山 : 火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳 : 地震活動、噴煙活動は静穏に経過しました。長期的に見ると地殻変動にはわずかな伸びの傾向が認められます。

次の火山活動解説資料（平成 15 年 4 月分）は 5 月 9 日に公表します。
 （札幌管区气象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>）
 （気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>）